

常民の保育システムの研究 (11)

— 離島の子どもとメディア環境 —

浜崎幸夫

(尚綱短期大学・尚綱短期大学子育て研究センター)

1 問題の所在と目的

沖縄の離島、伊是名島の保育システムに関しては常民の保育システムの研究(7)(8)(9)において、魂領域と子育て、魂領域の空間構造と子育て及び縁側の子育ての視点から報告してきた。これらの調査で伊是名島では、伝統的な子育て環境(家庭、地域、学校)が未だなお維持され、機能していることが明らかになった。しかし、現代の子どもに多大の影響を及ぼしていると考えられるメディアの普及の程度及びメディア環境が島の乳幼児にどのような影響を及ぼしているかに関しては明らかにされていない。今回の研究目的は、伊是名島のメディア普及の実態と乳幼児がメディアとどのような関わりもっているのかを明らかにすることにある。

2 方法

今回は、メディアの普及度に関しては聞き取り調査を実施し、乳幼児のメディアとの関わりに関してはアンケートによる調査を実施した。

(1) 聞き取り調査・・・①期日：平成15年10月30日②内容：伊是名村役場に電話で問い合わせ、メディアの普及度に関しての聞き取り調査を行った。

(2) アンケート調査・・・「乳幼児の生活アンケート」を実施した。①期日：平成14年9月、②対象：伊是名保育所(0歳から4歳児クラス)54名(75名中54名回収)及び伊是名幼稚園27名(回収30名中27名回収)

3 結果と考察

(1) メディアの普及度

①テレビ・・・一般家庭で視聴可能なテレビ局は次の4つである。NHK(第1・教育)、琉球朝日、沖縄テレビ、琉球放送、次に特別なアンテナを用意すれば視聴可能なテレビ局は2つである。鹿児島放送、NHK衛星放送。②ラジオ・・・通常放送は全部聴取可能。③ビデオ・・・ビデオデッキの普及率は不明であるが、ビデオソフトの普及状態は次の通りである。雑貨やまたは電気ショップで村内行事などのビデオを借りることは可能である。映画などの一般のビデオを島内で借りることはできない。必要な人は沖縄本島などで購入している。④携帯・・・ドコモ、ボーダホン、

セルラーは使用可能。⑤電話・・・通常の電話が使用可能⑥村内放送・・・役場から拡声器で放送あり。

(2) アンケート調査

アンケート調査の内容は次の6つに関する者である。①テレビとの関わり、②ビデオとの関わり、③テレビ・ゲームとの関わり、④遊びについて、⑤子どもと周りの人との関わり、⑥子どもの生活で気になること。今回は、主として①テレビとの関わり、②遊びについて、に関する項目の結果とテレビ視聴と遊びとの関係について報告する。

1) 保育所

【テレビとの関わり】

①「テレビをどの程度見えていますか」ほとんど毎日80%、②「平日にはどれくらいの時間テレビを見えていますか」30分以下6%、30分14%、1時間21%、2時間38%、3時間15%、4時間7%(4名)、5時間2%(1名)、③「土日や休日にはどれくらいの時間テレビを見えていますか」30分以下4%、30分8%、1時間13%、2時間22%、3時間21%、4時間17%(9名)、5時間13%(7名)6時間2%(1名)、④「テレビを誰と一緒に見るのが多いですか」きょうだい50%、母親29%、父親14%(11名)、友達6%(5名)、1人で見る1%(1名)、⑤「テレビは何台ありますか」1台67%、2台33%、⑥「テレビ視聴を始めたのは何歳頃ですか」1歳63%、2歳31%、0歳4%、3歳2%、⑦「夜遅くまでテレビを見ていることがありますか」ない52%、たまにある48%、よくある0%、⑧「どんなテレビ番組が好きですか」アニメ58%、幼児番組23%、動物番組7%

【遊びについて】

①「いつも室内で遊ぶことが多いですか、外で遊ぶことが多いですか」ほぼ同じ45%、外で遊ぶことが多い35%、室内で遊ぶことが多い20%、②「いつもどこで遊んでいますか」自宅・自宅の庭・近所の空き地や公園、各26%、計78%、近所の路地や道路13%、友達の家3%、③「室内あるいは外でどんな遊びをよくしていますか」(室内)おもちゃ27%。ままごと18%、おえかき11%、絵本10%、おいか

けっこ5% (外) 砂遊び24%、自転車18%、公園の遊具9%、かけっこ9%、さんぽ8%、水遊び6%、虫取り5%、④「平日は主に誰と遊びますか」きょうだい38%、母親29%、友達20%、父親5%、1人で遊んでいる1% (1名) ⑤「土日や休日は主に誰と遊びますか」きょうだい33%、母親28%、友達18%、父親12%、1人で遊んでいる2% (2名)

2) 幼稚園

【テレビとの関わり】

①「テレビをどの程度見えていますか」ほとんど毎日82%、②「平日にはどれくらいの時間テレビを見えていますか」1時間38%、2時間31%、3時間11%、30分8% (2名)、5時間4% (1名) 10時間4% (1名)、③「土日や休日にはどれくらいの時間テレビを見えていますか」1時間31%、2時間23%、4時間19% (5名)、3時間15% (4名)、5時間4% (1名)、6時間4% (1名)、10時間4% (1名) ④「テレビを誰と一緒に見る人が多いですか」きょうだい49%、母親21%、父親16% (7名)、友達7% (3名)、1人で見る5% (2名) ⑤「テレビは何台ありますか」1台50%、2台42%、3台8% ⑥「テレビ視聴を始めたのは何歳頃ですか」2歳50%、1歳19%、3歳15%、4歳12% (3名)、0歳4% (1名)、⑦「どんなテレビ番組が好きですか」アニメ49%、幼児番組17%、ヒーローもの13%

【遊びについて】

①「いつも室内で遊ぶことが多いですか、外で遊ぶことが多いですか」外で遊ぶことが多い58%、ほとんど同じ34%、室内で遊ぶことが多い8% (2名)、②「いつもどこで遊んでいますか」近所の空き地や公園32%、近所の路地や道路18%、自宅・自宅の庭・友達の家各16%、③「室内あるいは外でどんな遊びをよくしていますか」(室内) ごっこ遊び24%、おえかき18%、おもちゃ16% (外) 自転車24%、砂遊び17%、公園の遊具12% ④「平日に主に誰と遊びますか」友達53%、きょうだい35%、母親5% (2名) 1人で遊ぶ2% (1名) ⑤「土日や休日は主に誰と遊びますか」友達39%、きょうだい37%、母親13%、父親7%。

【考察】: ベネッセ教育研究所が2000年に乳幼児(1歳から6歳)を対象に実施した平日の「幼児の生活アンケート報告書」のデータと伊是名島の乳幼児の調査結果をテレビの視聴時間、誰と一緒に見るかの視点から比較し、伊是名島の特徴を明らかにしたい。次

に長時間視聴児(平日3時間以上、土日・休日4時間以上のどちらにも該当)と低時間視聴児(平日30分以下、土日・休日1時間以下のどちらにも該当)と遊びとの関連について検討する。

(1) テレビ視聴時間・・・ベネッセの1歳から5歳までの平均視聴時間は3時間5分であり、6歳児の平均視聴時間は2時間58分である。伊是名島では保育所で4時間以上の子どもは平日で、4時間4名、5時間1名計5名で全体の9%、幼稚園で5時間1名、10時間1名計2名で全体の8%を占めるにすぎず、視聴時間が短い。

(2) 誰と一緒に見るか・・・ベネッセのデータでは、1歳から5歳の平均がきょうだい44%、母親42%、父親0.8%、友達0.3%、6歳児がきょうだい67%、母親17%、父親0.5%、友達0%である。伊是名島では保育所できょうだい50%、母親29%、父親14% (11名)、友達6% (5名)、幼稚園できょうだい49%、母親21%、父親16% (7名)、友達7% (3名)であり、父親や友達との共同視聴が多いことは伊是名島の特徴である。このことは、⑥番目の調査項目の中の「現在、地域で子どもの世話をしているのは誰ですか」に、保育所で「近所の子」と答えた人が5% (4名)、幼稚園で11% (4名)もいることと関連している。

(3) 長時間及び短時間視聴児と遊びとの関係・・・

保育所5名、幼稚園3名計8名が該当する。8名中、室内で遊ぶことが多い2名、外で遊ぶことが多い0名、ほぼ同じ6名であった。長時間視聴児には、外で遊ぶことが多い子どもなく、室内で遊ぶことが多い子どもが2名、他の6名はほぼ同じであった。長時間視聴児には室内で遊ぶ傾向が見られるが、多くは外でも遊んでいる。短時間視聴児は保育所5名、幼稚園2名計7名であった。7名中、室内で遊ぶことが多い子どもは2名、外で遊ぶことが多い子どもは2名、ほぼ同じが2名であった。短時間視聴児の中で、室内で遊ぶことが多い子どもは、ビデオ視聴を1歳ごろから早期に行っている子どもであった。

4 結論

- (1) 伊是名島の子どもはテレビ視聴時間が本土比べて短い。
- (2) 父親、友達との共同視聴が多いのが伊是名島の特徴である。
- (3) 伊是名島の長時間視聴児は、外遊びも行っている子どもが多い。短時間視聴児は外遊びが多い傾向にある。